

臨床医学委員会・総合工学委員会合同放射線・放射能の利用に伴う課題検討分科会  
粒子線治療産学共同研究の国際競争力強化検討小委員会（第26期・第2回）議事要旨  
文責 中野

日時：令和7年2月21日（金）午後4時から6時

開催形式：web会議方式

参加者：神田玲子、櫻井博儀、志田原美保、中野隆史、西尾禎治、井上優介、井垣浩、大野達也、櫻井英幸、白井敏之、鈴木義行、橘正則、歳藤利行、平田寛、古川卓司、松浦妙子、山田貴啓、若月優（計18名）

オブザーバー：梅澤真澄、松藤成弘

欠席者：青木茂樹、唐澤久美子（計2名）

### 議事内容

開会のあいさつ：当該分科会 委員長の中野隆史から小委員会開催の趣旨説明が行われた4. 議題

（1）第1回小委員会の議事録の承認：第1回小委員会の議事録案が説明され、議事録が承認された。

（2）部会長より会議運営について：神田第二部会長から、提言・見解・報告などの意思の表出の手続きについて、詳しく説明された。

（3）課題検討活動の業務分担等について：中野委員長から、見解「**粒子線がん治療産学共同研究および社会実装の国際的競争力増強の支援（仮称）**」について見解の趣旨および課題に関する包括的な骨子が示され、より効果的な見解作成に向けた意見交換が行われた。その中で、見解の目的と課題を明確に伝える論理構成に関して、多くの重要な意見が提示された。そして、次回の小委員会までに、見解作成に向けた執筆分担者を明確にし、具体的な文書作成作業を開始することが確認された。

（4）今後の活動日程等について：当該見解の作成日程について、説明され、8月中に見解の素案を作成し、分科会（対面会議）で、最終見解案を確認し、今年中に親委員会（臨床医学委員会と総合工学委員会）に最終見解案の査読を依頼する。そして、今年度中に2委員会からの査読意見を参考に小委員会と分科会の合同チームで改訂を繰り返し、最後の2委員会で見解の最終改定案を承認してもらい、来年度初期に科学的助言等対応委員会に見解書の最終案を提出し、改訂の後、最終的に来年度9月までに学術会議から見解を公表する日程案が提示され了承された。

（5）その他：次回の小委員会は7月に予定しており、それまでに、メールベースで各分担者が相談し、担当項目の文章を作成し、次回の小委員会で内容を検討することとなった。